



準耐火防火地区のため、構造をあらわしにすることはできませんが、構造材に国産木材を使っているのは同社のこだわりのひとつ。「夏は自宅の花火大会を楽しみたい」という要望に応え、屋上をつくっています。完成は2023年5月の予定です

水準3の高性能で実現する日照に頼らない快適な住環境

今回使用している断熱パネルは高価ですが、経年に変形しづらいのが利点です。長持ちする家をつくろうと思ったら、耐震性も重要ですが、住まい手が高齢になっても健康でいられる高断熱・高气密は必須でしょう。都の助成があったからこそ、高価でもお施主様に勧めることができました。いずれはお子様の誕生や、親との同居など、住まい方が変化していく可能性もあるので、各居室にエアコンを設置しますが、断熱性が高いため暖房と冷房、それぞれ1台で十分に空調ができます。

株式会社
くらし工房大和(江戸川区)
代表取締役
鈴木 晴之さん

設計者の言葉

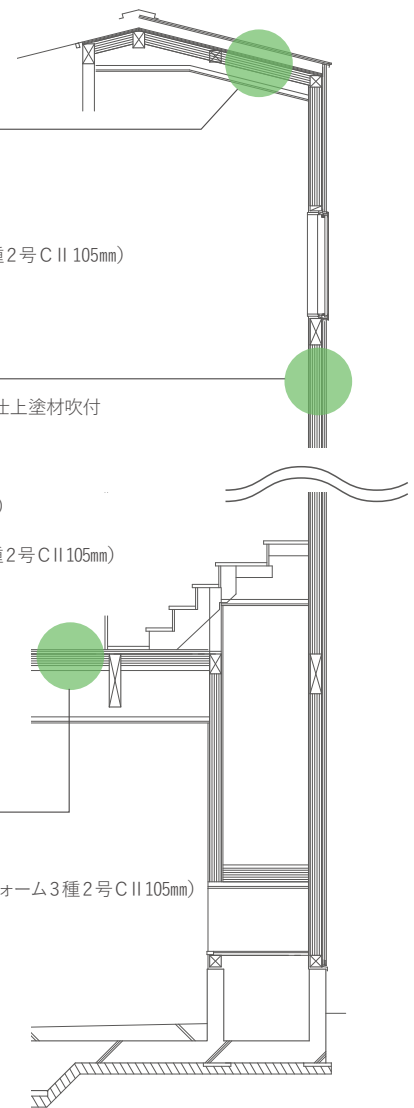


[建物の断熱仕様]

■屋根
構造用合板 12mm×2
勾配用根太
構造用合板 24mm
断熱パネル
(硬質ウレタンフォーム3種2号C II 105mm)
強化石膏ボード 12.5mm

■外壁
セラミックシリコン樹脂系仕上塗材吹付
ラスモルタル通気工法
通気胴縁(40mm×18mm)
透湿防水シート
耐力面材 9.5mm (一部合板)
断熱パネル
(硬質ウレタンフォーム3種2号C II 105mm)
石膏ボード 15mm

■床
フローリング 15mm
構造用合板 24mm
断熱パネル(硬質ウレタンフォーム3種2号C II 105mm)



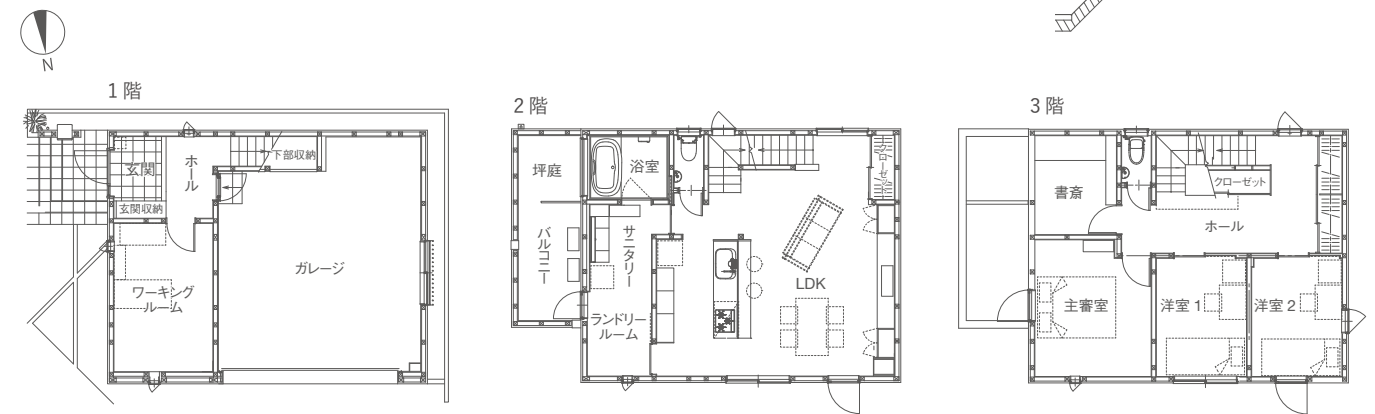
建築費用
5,600万円台
(坪単価100万円台)

助成金
210万円
建物全体 **210万円**
太陽光発電 なし

角地に建つ、若い夫婦のための住宅です。1階の大部分を、カーマニアの施主が父から受け継いだスポーツカーと自分の車を納めるガレージとし、玄関ホールからは愛車を眺めることができます。

周囲を3階建て住宅に囲まれ、日射取得がほぼ期待できない環境を考慮して、暖房を連続運転させることを想定。節電・省エネの観点から、UA値0.43W/m²まで高断熱化しています。長期間に渡り断熱・気密性を維持することを主眼に置いて、天井、壁、床のいずれも、経年劣化の少ない硬質ウレタンフォームによる断熱パネルを使用しています。1階の大部分がガレージになっているので、断熱のラインは基礎・1階の床ではなく、2階の床となっています。

狭小地ですが、ガレージに給湯器のタンクを置いたことで、高効率な電気・ガスハイブリッド式給湯器を採用。暖冷房は各居室に設置したルームエアコンで、換気は第三種換気。一次エネルギー消費量を40%削減しています。



DATA

[建築概要]
設計・施工：株式会社くらし工房大和(江戸川区)
建設地：東京都江戸川区
竣工：2023年5月(予定)
敷地面積：82m²
延床面積：132.29m²(他車庫38.25m²)
構造：木造3階建て

[断熱仕様]
屋根断熱：硬質ウレタンフォーム3種2号C II 105mm
壁断熱：硬質ウレタンフォーム3種2号C II 105mm
床断熱：硬質ウレタンフォーム3種2号C II 105mm
UA値：0.43W/m²K
η AH値：1.4
η AC値：1.8
C値：未測定
窓：LIXIL TW、TW防火戸(アルミ樹脂複合サッシ・ペアガラス)
玄関ドア：LIXIL ジェスタII K2仕様(熱貫流率1.79W/m²K)

[設備仕様]
空調：壁掛けエアコン7台(3.6kW)
【主たる居室】エネルギー消費効率の区分：(い)
【その他の居室】エネルギー消費効率の区分：(は)
エアコンの省エネ基準(2010年)達成率：☆☆☆☆
換気：第三種換気
給湯：電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用給湯器
節湯水栓：台所=A1、浴室=B1、洗面=C1
照明：全室LED
再エネ設備：なし
BEI：0.60

